

第 59 回徳島県自転車競技選手権の注意事項

大会当日は真夏の開催になります。文部科学省及び日本スポーツ協会の勧告に従い暑さ指数（WBGT）が 31 を上回り、現場にて危険と判断された場合は 1KmTT と 200FTT のみの開催とし、2つのリザルトをもって選手権とする。

走路保護のため、**レーザーシューズでの走路の歩行を禁止**する。

自転車検査は行わない。J C F 競技規則に則り各自で自転車を準備すること。

インフィールド内へのローラーの持ち込みを禁止する。

競技終了後、指示を受けた競技者は、自転車、靴下等のチェックをする場合がある。

各チームサポート等は、スペアホイールや工具を必ず準備しておくこと。

撮影等禁止行為について（競技会場内での撮影・録画及び録音は禁止です。）

例外 1 撮影許可を得ている場合

例外 2 個人的な利用が目的で次に該当しない場合。（ただし、次の場合でも肖像権・著作権を侵害しないよう注意すること。）

会場内の音声、映像の全部または一部をインターネットその他のメディアを通じて配信することを禁止する。

周長補正を行う、補正值(m)は以下の通り。

200m : 0.307 ・ 1km : 1.537 ・ 500m : 0.768 2km

映像記録装置の装着を認めない。

靴下とオーバーシューズについては、踝の中心と腓骨頭中心の間の半分の距離によって定義された高さ以上に及んではならない。

競走種目における競技中のハンドル持ち替えは単独で走行している場合のみ許容する。

タイムトライアル

バックよりの単独発走とする。出走準備完了後 30 秒のカウントダウンを開始する。

スプリント

200FTT 上位 4 名により一回戦により順位決定戦をする。

ケイリン

ペーサはスプリンターラインの内側を走り、スタート時は 30Km/h、フィニッシュ 2 周前 (800m前) のトラックを離れるまでに、徐々に 50km/h まで加速する。

ポイント・レース、スクラッチにおいて、スタート前、1 番の選手はスプリンターレーンにホルダーによって保持され、残りの選手は外柵に沿って並ぶこと。

その他

(ア) 認められる事故発生時のニュートラリゼーションは 3 周回 (1,200m) とする。

(イ) フィールド内での指示

タイムトライアルについてはスタートライン付近に 1 名のみ認める。その他の種目については、バック側インフィールド付近に選手 1 名につき 1 名を認める。

以上